



## ～ 脳卒中と「風」 (その2) ～

川崎医科大学総合医療センター

脳卒中科副部長 井上 剛

### 古代中国における「風」と脳卒中の関係

紀元前1世紀の前漢時代、それ以前の医書をまとめた中国最古の医学書とされる『黄帝内経』の『靈枢』九宮八風篇・第七十七には、

「其有三虚而偏中於邪風、則為擊仆偏枯矣。」

(もし三虚<(簡単には)体内の虚弱な状態>に逢い、しかも折悪しく邪風に中たると、突然気を失って倒れたりあるいは半身不随の病証を引き起こしたりするだろう。)

とまさに、邪風(中風)による脳卒中の病因と症状が説明されている。

さらに歴史をさかのぼり、風が脳卒中を起こすという古文献を調べてみると、紀元前5世紀から紀元前221年の戦国時代の初期から中期に成立したと考えられている『春秋左氏伝』の昭公元年(紀元前541年)の「伝」では、

「天有六氣、降生五味、發為五色、徵為五聲、淫生六疾。六氣曰陰陽風雨晦明也。分爲四時、序爲五節、過則爲菑。陰淫寒疾、陽淫熱疾、風淫末疾、・・・」

(天には六気があり、・・・六気とは陰・陽・風・雨・晦・明のことで、・・・風気が度を越すと手足の病気が起こり・・・)。

と戦国時代には気である風が手足の病気の病因になることを説明している。「気」を定義的に記述した最も古い記述である。他に、現在に伝わっている四書五経の一部、戦国時代の墓から出土した竹簡から解読し失われていた文献では、風が手足の病気を起こす病因を最も説明した文献は『春秋左氏伝』だった。

同時に「五味」、「五色」、「五声」も前述されており、この「六気」の病因は陰陽五行説が唱えられた戦国時代の中期以降の成立だろう。

また、さらに歴史をさかのぼって、西周(紀元前11世紀後半～紀元前771年)の頃の金文、いわゆる青銅器の表面に鑄込まれた文字の一次資料研究の文献には、風が手足の病気などを起こすという内容はなかった。

## セミナーのご案内

別紙のとおり、急性期病院として地域住民に安心を提供できる医療連携の構築を目指し、病診連携・病病連携の充実を図ることを目的として下記を開催いたします。奮ってご参加をお願いいたします。

### 『令和7年度 第2回 せとうちクリニカル・ベストプラクティス・ミーティング Webセミナー』

日 時：令和7年7月12日(土)14:00～15:30 (入室13:30～)

方 法：オンライン (Zoom)

テ ー マ：「慢性腎臓病におけるチーム医療」

講 師：川崎医科大学総合医療センター 内科 副部長 大城 義之  
透析センター看護師 根岸 聡美  
管理栄養士 橋本 誠子

対 象：医療・介護・福祉施設の専門職

参 加 費：無料 (岡山県医師会生涯教育単位 1.0 申請中)

申込方法：氏名・施設名・職種・医師登録番号(医師のみ)・住所・電話番号を記入の上、地域医療連携室にメール ([renkei@hp.kawasaki-m.ac.jp](mailto:renkei@hp.kawasaki-m.ac.jp)) にお申し込みください。

↑  
ハイフン

## ホットラインのご案内

### ☎ 脳卒中ホットライン ☎

- 24時間365日対応いたします。
- 脳卒中専門医師に直通電話でコンサル
- 「お断りゼロ」を目指します。
- 脳血管疾患の診療依頼の他のご相談も含めてお気軽にご連絡ください。



### ☎ 循環器ホットライン ☎

- 緊急の循環器疾患に関するお問合せ・ご紹介時に専門医師が直通電話で対応します。



### 病院理念

- 1.医療は患者のためにある
- 2.すべての患者に対する深い人間愛を持つ
- 3.24時間いつでも診療を行う
- 4.先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
- 5.地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

学校法人川崎学園 川崎医科大学総合医療センター  
患者診療支援センター 地域医療連携室

〒700-8505 岡山市北区中山下二丁目6番1号

TEL 086-225-2133 (直通)

FAX 086-221-1101

E-mail [shien@hp.kawasaki-m.ac.jp](mailto:shien@hp.kawasaki-m.ac.jp)